

# 地域の伝統文化継承に学生が取り組む 「西塩子の回り舞台」プロジェクト

人文社会科学部人間文化学科 2年 河井孝太

## 連携先

「西塩子の回り舞台保存会」  
(会長 大貫孝夫)  
「常陸大宮市まちづくりネットワーク」  
(代表 倉田稔之)

## 顧問教員

西野 由希子 (人文社会科学部 教授)

## 参加者

小野瀬 篤美  
(人文社会科学部法律経済学科 3年)  
岸 朱里  
(人文社会科学部現代社会学科 3年)  
河井 孝太  
(人文社会科学部人間文化学科 2年)  
軍司 真奈  
(人文社会科学部現代社会学科 2年)  
小池 さくら  
(人文社会科学部人間文化学科 2年)  
根本 隆太  
(人文社会科学部人間文化学科 1年)

## プロジェクトの概要

### ●活動の目的について

本プロジェクトは「西塩子の回り舞台」を成功させ、盛り上げるために発足した。「西塩子の回り舞台」とは、茨城県常陸大宮市の西塩子地区において、3年に1度開催される江戸時代からの伝統をもつ日本最古の組立式農村歌舞伎舞台である。地元の保存会の方々が高齢の方が過半数を占

めており、人口も減少しているため、年々公演開催が危ぶまれているといった課題がある。そのため、私たち学生(若者)をはじめとするボランティアが、どのように保存会を支え、「継承」していくかが重要だと考えた。

### ●事前活動について

まず、「西塩子の回り舞台」を盛り上げていくうえで必要不可欠である、「西塩子の回り舞台」の基礎知識を身につけるための勉強会を行った。回り舞台の歴史や前回までの公演について、また常陸大宮市と茨城大学の連携協定のもとで茨城大学生がこれまでどのように関わってきたのかなどを知り、今年度はどのような活動をしていくかを話し合った。

他にも、「茨城学」が行われる前の時間をいただき、回り舞台宣伝ポスターを用いて多くの学生にボランティアの募集を呼びかけた。また、公演当日に実施するアンケートに協力していただいた方へのお礼の品として第七回定期公演記念缶バッジの作成も行った。

地鎮祭が行われた8月下旬から舞台の組み立てが始まり、組み立ての日程に合わせてその都度参加できるメンバーが現地へ赴いた。保存会や、市内外から来ていたボランティアなどの多くの方々に教えていただきながら、大柱、鳥居組み立て・花道、棧敷席組み上げ・竹の切り出しなど様々なお手伝いをした。

### ●本公演当日の活動について

2019年10月20日(天候によって19日から変更された)に本公演が開催された。当日は、茨大テント(作成したアンケート配布・回収, 公式グッズの販売, 台風19号の災害募金等), 本部脇テント(演目プログラムと抽選券の配布, 抽選の商品引き換え等), 舞台裏方のお手伝いの3つのチームに分かれて活動した。各々がそれぞれの仕事を全うしつつ, プロジェクトメンバー自身も本公演を楽しみながら魅力を知ることができたため, 今後の活動をしていくうえでも大切な経験となった。

また, 幕間(演目と演目の間)には, 本プロジェクトから代表者数名が舞台に上がり, プロジェクト活動についてのインタビューを受け, 当日来場していた多くの方々に本プロジェクトについて紹介した。目玉企画でもある抽選会のくじ引きの補助も行った。

### ●事後活動について

組み立て見学者と公演来場者を対象に行ったアンケートの結果をまとめ, 分析した。それらの結果はメンバーの感想とともに報告書としてまとめ, 保存会にお渡しした。

また, 来場者アンケートのデータを分析した結果から, 常陸大宮市内からの来場者が圧倒的に多いことや若年層が少ないことが明らかになった。そこで, より多くの人に知ってもらうきっかけを作るために「西塩子の回り舞台」を紹介するリーフレットを作成した。特に茨城大学がある水戸市を中心として, 水戸市の人々にはまず回り舞台の存在を, そして市内在住の方には

より詳しく知ってもらうことを目的とした。回り舞台の歴史や, 舞台が組みあがるまでの経過などを, 現地で撮った写真を活用しながら作成した。完成したリーフレットは保存会の方々にも配布協力をしていただき, 加えて茨城大学をはじめとする水戸市内の様々な施設や常陸大宮市に置かせていただき多くの人々の手に届くようにお願いする予定である。

### プロジェクトの成果報告

#### ●成果

公演は成功に終わり, 一年を通してプロジェクトメンバーの全員が「西塩子の回り舞台」というひとつの伝統文化の大切さや貴重さ, そして継承していかなくてはならないかけがえのない文化であると認識することができた。単に伝統文化の表面だけを見るのではなく, その文化が抱える課題に目を向けられるようになり, どのようにして解決・解消していくかを考える力を養うことができたのではないだろうか。今回のプロジェクトで学んだことは, これから各々が様々な地域で活動をするにあたって「文化」に対して向き合い, 考えていく際の基盤となるだろう。

#### ●今後の課題

3年後の開催は未定ではあるが, 地域の伝統文化を支えるために茨城大学生として何ができるか, 空白の3年間をどう活かしていくかが今後の課題である。また, メンバーのほとんどが次回の開催時には大学を卒業しているため茨城大学生からの回り舞台の手伝い手が現れるか不明である。茨城大学でどのようにして「西塩子の

回り舞台」を伝えていくのかも考えていく必要がある。

●今後の展望

来年, 再来年と公演が行われない年になるが, アンケート結果の分析を中心に学生だからできることを見つけ行動していくことはできる。公演が開催されない年であっても回り舞台の継承に携わることは可能である。今年度は保存会や地域の市民ネットワークとの協力がほとんどであったので当プロジェクトで学んだことを活かしつつ, 行政機関とも積極的な協働をしていき第八回定期公演に向けて活動していきたいと考えている。



写真1 組み立てのお手伝い



写真2 舞台公演当日



写真3 リーフレット



写真4 保存会のみなさんへアンケート結果とリーフレットをお渡し